

『 ピザが焼けたよ 』 3歳児 7 月



エピソード

米粉粘土で遊び始めたひまわりぐみ。
冷蔵庫で保管していたので、「つめたっ」「もちもち」「おこめのおいがするよ」と言いながら触り、初めは感触を楽しんでいました。保育者が粘土の型抜きやのばし棒などの道具を出してくると、M 児、S 児が粘土を丸い形に伸ばし始め、「ピザ作ってるねん」「トッピングやねん」と言いながら、小さくちぎった粘土をのせていましたしばらく形を作っているうちに、机に敷いていた紙に水分が染みて破れてきました。M 児、S 児は白い粘土に茶色の紙が混ざっても気にせず遊んでいます。「混ぜても面白いね」と保育者が話しながら、紙と粘土を混ぜていました。すると、それを見ていた H 児が床に敷いている紙の端を破って差し出します。「H ちゃんそれも使えるね」とトレイの水に紙を漬けてみると、それを自分の粘土に巻き始めました。「色がついたね。」という嬉しそうにうなづく H 児。「焼けたみたいだね」というと、「こっちもやりたい」と M 児。別の保育者が焼き網台を持ってきたので、焼いて遊び始めました。

保育者の思い

- ・M 児は家庭での経験から具体的なイメージを持っている。身近な道具や素材を使いながら一緒にイメージするものを作っていきたい。
- ・偶然水分が染みた紙が粘土に混ざったことから粘土に変化が見られたことを一緒に楽しんでいきたい。
- ・紙と粘土を混ぜて作るの楽しそう→やりたい→床に敷いている紙と同じだ→これを使おう
と H 児は思ったのだろうか。
自分で考え、紙を破く行動を起こすまで H 児の気持ちが動いたことが嬉しい。
さらに意欲が高まるようつなげていきたい。
- ・それぞれの子どもがイメージする世界をつなぎ、友だちとも一緒に楽しんでほしい。

子どもの育ちや学び

- ・米粉粘土の感触や見立てる、作ることを楽しんでいます。
- ・生活の中で体験したことを再現し、自分で作ることを経験しています。
- ・友だちや保育者がしていることに興味をもち、同じようにしてみようとしています。
- ・感じたことややりたいと思ったことを保育者や友だちに言葉で伝えています。伝わった時の喜びが表情に表れています。

家庭だったら・・・

- ・米粉と水があればすぐにできる安全な粘土です。100均にも売っています。もちもちして気持ちよく、大人も一緒に楽しめますよ。
- 雨の日、暑い日の遊びにどうですか？
- ・家庭で日々経験していることを子どもたちはよく遊びで再現しています。ちょっとしたお手伝いや一緒にしたことが子どもたちのイメージの世界を広げ、言葉を育んでいると思います。